

商品番号 02

第2類医薬品

## 山本漢方小青竜湯エキス顆粒

## 【特徴】

- 小青竜湯は漢方薬の原典である中国の医書「傷寒論」及び「金匱要略」でもっともよく知られている薬方の一つです。
- 鼻炎、鼻水、気管支炎、気管支ぜんそくなどに効果があります。

## ⚠ 使用上の注意



## 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
  - (1) 医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
  - (4) 胃腸の弱い人。
  - (5) 発汗傾向の著しい人。
  - (6) 高齢者。
  - (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
  - (8) 次の症状のある人。  
むくみ、排尿困難
  - (9) 次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位（感冒に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 【効能又は効果】

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：  
気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

## 【用法及び用量】 次の量を1日3回、食前又は食間に水又は白湯にて服用する。

年齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	1包（2.0g）	3回
7歳以上15歳未満	2/3包	
4歳以上7歳未満	1/2包	
2歳以上4歳未満	1/3包	
2歳未満	服用しないでください。	

## 〈用法及び用量に関連する注意〉

服用に際して、次のことに注意してください。

- (1) 本剤は定められた用法及び用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

## 【成分及び分量】 大人1日の服用量3包（6g）中

本品 1日量 3包（6g）中

日本薬局方 ハンゲ	3.0g	日本薬局方 マオウ	1.5g
日本薬局方 シャクヤク	1.5g	日本薬局方 サイシン	1.5g
日本薬局方 ゴミシ	1.5g	日本薬局方 ケイヒ	1.5g
日本薬局方 カンゾウ	1.5g	日本薬局方 ショウキョウ	1.5g

上記生薬より得た小青竜湯エキス（1/2量）3.0gを含む

\*添加物として結晶セルロース、乳糖水和物、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウムを含有します。

## 【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）。
- (4) 使用期限（外箱に記載）の過ぎた製品は服用しないでください。

お客様相談窓口

## 山本漢方製薬株式会社

〒485-0035 愛知県小牧市多気東町156番地  
お問い合わせ ☎ 0568-73-3131  
受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日は除く）  
ホームページアドレス <http://www.kanpo-yamamoto.com>

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931

製造  
販売元

山本漢方製薬株式会社

愛知県小牧市多気東町156番地